



知行合一

校訓

自主 誠実 躍進

田浦中学校だより No.11
文責 古田 利也
令和5年3月9日発行

田浦中学校教育目標

夢実現 潤いと輝きにあふれる学校

「人の己を知らざるを患えず、人を知らざるを患うるなり。」(孔子)

人が自分のことを正しく理解してくれないことを思い悩んでもしかたない。それよりも自分が人を正しく理解していないことを心配すべきである、ということから私たちは自分のことをもっとわかって欲しい、もっと理解してほしいと思っているが、それよりも、自分が他人を正しく理解しているかということの方が大事である、の意。

1月 行く 2月 逃げる 3月 去る

令和4年度 第3学期 人権教育講話実施しました！



令和5年2月6日(月)に熊本ヴォルターズ「ふれあい人権教室」を行いました。今回の企画は、県人権同和教育課からの募集に基づき応募したところ、県下で2校の枠に入れてい

ただくことができ、実現したものです。熊本ヴォルターズからは、ソウ・シェリフ選手に来校いただき、生徒からの質問に答えていただく形で外国人の人権や多様性について関心と理解を深めたところです。



ソウ・シェリフ選手

ソウ選手はバスケットボールをするために16歳で来日し、文化の違いや言葉の壁に苦労したことを話してくださいました。また日本の素晴らしいところも話していただき、改めて日本の素晴らしさを認識したところです。最後に、「差別はどこに行ってもある。何事もポジティブに考えることが大事なんだ。」と自身の体験から話していただきました。

立志式



令和5年2月11日(土) 2年生33名は学校でタイムカプセルを埋めたあと、御立岬に移動し、将来の夢や希望を発表しあい、志を新たにしました。最後には、保護者からのサプライズ手紙も準備され、子供を思う気持ちのいっぱい詰まった温かい言葉を生徒たちはしっかりと受け止めていたようでした。

令和5年3月5日(日) 卒業式！！

義務教育9年間からの卒業 いよいよ自立の時！

平成26年4月1日 義務教育がスタートした日です。自身より大きなランドセルを背負い、登校班で毎日学校まで歩いて登校した日々が懐かしく思い出されるのではないかと思います。あれから9年…、長かったようで短かったアツという間の9年間だったのではないのでしょうか。

全員合唱



そして今日、義務教育を終え未来へ羽ばたこうとしています。詩人 高階紀一さんは、次のように言っています。『こどもたちよ、おそれてはいけない。この世のどんなものもみな「初めて」から出発するのだから』

旅立ちの日を迎えた33名が、田浦中学校の76年という長い歴史の継承者として、また多くの先輩方に肩を並ぶべく、栄えある田浦中学校の卒業生として、変化の激しい世の中をたくましく生き抜き、充実した人生を歩んでくれることを期待します。そのためにも、今まで同様、保護者の皆様、地域の皆様、これまで子どもたちの成長に関わっていただいた多くの皆様方の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



“君たちの活躍を心から期待しています。”

卒業おめでとう！
がんばれ！

本年度の卒業式は新型コロナウイルス感染症対策でのマスク着用について、芦北町の3中学校で「卒業生はマスクなしでの参加」、「歌うときにはマスク着用」を共通理解し、実施しました。これまであらゆる行事での自粛・縮小等を強いられてきた卒業生でしたが、本年度は在校生も全員参加で行い、最後のお見送りまで全校生徒でできたこと卒業生も喜んでくれたのではないかと思います。

卒業記念品【掲示板】



当日は、厳粛な中で、終始、凛とした素晴らしい姿勢を見せてくれた卒業生の姿がありました。

卒業式前には3年生の卒業記念品として中央階段横の4か所に掲示板を設置いただきました。掲示板には卒業生の誕生花が描かれています。